

この秋、ロームシアター京都で躍動する 身体表現の最先端

サーカスとコンテンポラリーダンスが織りなす超絶技巧満載の一大スペクタクル



© Pascale Cholette

ラシッド・ウランタン

コール エクストレーム

『Corps extrêmes—身体の極限で』

11月2日(土)、3日(日)

今を生きるわたしたちの身体に宿る「文化」や「アイデンティティ」に切り込む



© José Caldeira

マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ

カルカサ

『CARÇAÇA』

11月15日(金)、16日(土)

ロームシアター京都 サウスホール

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、ダンス リフレクションズ by ヴァンクリーフ&アーペル、京都市
※本公演は、京都と埼玉で開催するダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル フェスティバルの一環として上演いたします。

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当：儀三武、寺田、加藤陸
電話：075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp

ラシッド・ウランタン

コ ー ル エ ク ス ト レ ー ム

『Corps extrêmes—身体の極限で』

アスリートとアーティスト

人間の身体の極限に挑む驚異のパフォーマンスの奇跡のアンサンブルが実現！



© Pascale Cholette

2021年、パリのシャイヨー国立劇場ディレクターに就任したラシッド・ウランタン。2022年に当劇場で上演したカンパニーXY with ラシッド・ウランタン『Möbius /メビウス』では、その超絶技巧に多くの注目が集まりました。スポーツとアートの境界が取り除かれた本作では、傑出した才能をもつ超高所での綱渡り（ハイライナー）とクライマーの2人が、8人のアクロバットパフォーマーとともに数々の超絶技巧を繰り広げます。作中で語られるのは、世界最高記録をもつハイライナーのナタン・ポラン、クライマーのニーナ・カプリッツ、フライヤーのアリエル・カーンの想い。何が彼らを空中に駆り立てるのか。驚異的な技で魅せる彼らの極限状態における心の内とは――。

ハイブリッドな舞台装置と、浮遊する音楽のなかで ドキュメンタリーと夢が交錯する舞台

まるでイカロスの夢を現代に具現化したようなステージは、超人的な動きのダイナミズムで観る者を圧倒するだけでなく、空中での空虚との戯れの先にあるパフォーマーの心情をも映しだします。ジャン＝バティスト・ジュリアンの重層的な音楽とともに、並外れた人間の体験に鮮やかな光を投じる新感覚のパフォーマンス。また、公演と併せて、無重力感を体験し、自分の身体の可能性を探求する二つのワークショップを実施。作品世界を堪能する絶好の機会です。



© Pascale Cholette

コンセプト・構成：ラシッド・ウランタン

出演：タミラ・ドゥ・ナイヤール、ベラール・サン・ヴィサント、リザンドロ・ギャロ、
ジョエル・アズー、ヴァレリアン・ムティエール、マキシム・セゲール、シャルリー・エシオン、
ニコロ・マルツォーリ、カミーユ・ドゥマス、アントワーヌ・クレティノン
映像出演：ナタン・ポラン、ニーナ・カプリッツ

音楽：ジャン＝バティスト・ジュリアン 映像制作：ジャン＝カミーユ・ゴイマール
照明：ステファン・グライヨ 衣裳：カミーユ・パナン

■公演情報

日時：2024年11月2日(土) 19:00 開演、3日(日・祝) 15:00 開演*

上演時間：約60分

会場：ロームシアター京都 サウスホール

*3日、ダンサーによるポスト・パフォーマンストークあり。

3日、託児サービスあり。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトをご覧ください。

■関連企画

アクロバットパフォーマー、ダンサーによる初心者向けワークショップを開催。
作品世界を体感できる絶好の機会です。

▶アクロバット・ワークショップ

アクロバットの基礎的な動きにフォーカスし、無重力感や宙ぶり状態を体験します。

10月29日[火] 18:00~21:00

講師：マキシム・セゲール、タミラ・ドウ・ナイヤール(アクロバット・アーティスト)

▶ダンス・ワークショップ

感覚と知覚を呼び覚まし、自分の身体の可能性を探求します。

10月30日[水] 18:00~21:00

講師：アニー・ハナウアー(ダンサー)

会場：ロームシアター京都 ノースホール

料金：各2,000円

対象：初心者の方(14歳以上)

定員：各25名 ※先着順。定員に達し次第、申込を締め切ります。

※『Corps extrêmes—身体の極限で』公演チケットをお持ちの方のみ。

ワークショップ当日、チケットの購入を証明できるもの(チケット本券、購入完了メール等)をご提示ください。

お申込み：ワークショップお申込みフォームは[こちら](#) (受付〆切：10月13日)

ラシッド・ウランダン / Rachid Ouramdane



© Julien Benhamou

1992年にアンジェ国立現代舞踊センターを卒業後、振付家・パフォーマーとしてフランス国内外で活動を開始。2005年からアヌシーのボンリユー国立舞台、2010年からパリ市立劇場のアソシエイト・アーティストを務めた後、2016年1月より、サーカス・アーティストであるヨアン・ブルジョワとグルノーブル国立振付センター(CCN2)の共同ディレクターを務めた。2021年4月、シャイヨー国立劇場のディレクターに就任。日本では2012年に「万国博覧会(ワールド・フェア)」、2018年に「TORDRE」、2022年にカンパニーXY with ラシッド・ウランダン「Möbius / メビウス」を上演。

《埼玉公演》

日時：10月26日(土) 19:00 開演、27日(日) 15:00 開演

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール <https://www.saf.or.jp/arthall/stages/detail/100849/>

お問合せ：0570-064-939 (10:00~18:00/劇場休館日を除く)

マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ 「カルカサ」 『CARÇA』

ダンス界に新風を吹き込むポルトガルの新鋭、日本初上陸！
LGBTQIA+や旧植民地圏など、コミュニティに潜在する身体性を
独自のダンス表現へと昇華した意欲作



© José Caldeira



© 23 Milhas

中央ヨーロッパとは異なる文脈から独創的な振付を編みだしてきたフェレイラは、既存のダンススタイルを換骨奪胎する巧みな表現で国際的に高い評価を得ています。

動物の骨格や、船の骨組み等を意味するポルトガル語「カルカサ」を冠した本作は、集団的アイデンティティや文化の固定・形骸化などへの疑問を、ダンサーの身体をツールとして探求した作品です。そこに色濃く反映されているのは、個別のコミュニティの一員でありながらもグローバル社会の市民でもあるという、現代社会を生きるわたしたちが直面する状況です。

観る者全員へクリティカルな問いを投げかける本作は2022年の初演を皮切りに15か国以上で上演され、世界のダンスシーンで注目を集めています。

沸き立つ熱いリズムとエネルギーが、抵抗と連帯、
そしてあらたな創造へ向かう渦へと観る者を巻きこんでいく

10人のダンサーと2人の音楽家がせめぎあう、躍動感あふれる圧倒的なひとときは、次第にエネルギーを増幅し、レジスタンスと連帯、そしてあらたな創造へと突き進んでいきます。ウォーキングやハウスダンス、クラブのジェスチャーから伝統的な民族舞踊まで、多様なスタイルが融合したダンスが立ちあげる力強い磁場に、身体が共鳴する感覚を是非劇場でご体感ください。



© Mercat des Flors

振付：マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ

出演：アンドレ・ガルシア、レオ・ラモシュ、マルク・オリヴェラシュ・カザシュ、マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ、マルコ・タバルシ、マリア・アントーヌシュ、マックス・マカウスキ、メラニー・フェレイラ、ネルソン・テウニシュ、ナラ・レヴロン

音楽：ジョアン・パイシュ・フィリップ、ルイシュ・ピシュタナ

■公演情報

日時：2024年11月15日（金）19:00 開演、16日（土）15:00 開演

上演時間：約75分

会場：ロームシアター京都 サウスホール

※16日は託児サービスあり。詳細・お申込みはロームシアター京都 WEB サイトをご覧ください。

マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ / Marco da Silva Ferreira



© José Caldeira

1986年生まれ。アフロ系民族の影響を受けた都会的なダンススタイルを独学で学び、ホフェッシュ・シェクターなどの国際的な振付家のもとでダンサーとして活躍した後、2013年より振付家として活動を開始。代表作に、2018年のリヨンダンスビエンナーレで上演された『Brother』（2016年）、2019年にポルト市立劇場で創作された『Bisonte』等がある。2019年～2021年カーン国立振付センター（フランス・カーン）アソシエイト・アーティスト、2023年より、メゾン・ドゥ・ラ・ダンス（フランス・リヨン）アソシエイト・アーティスト。ヨーロッパの同世代で最も独創的な振付家のひとりと称されている。

《高知公演》

日時：11月20日（水）19:00 開演

会場：高知県立美術館ホール https://moak.jp/event/performing_arts/carcaca-kochi.html

お問合せ：088-866-8000（9:00-17:00）

■クレジット

ラシッド・ウランダン『^コル^ス ^エク^スト^レム 『Corps extremes—身体の極限で』

関連企画 「アクロバット・ワークショップ」、「ダンス・ワークショップ」

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ & アーペル、京都市

共同招聘：彩の国さいたま芸術劇場(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『^カル^カサ 『CARCAÇA』

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ & アーペル、京都市

共同招聘：高知県立美術館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：ポルトガル大使館

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

DANCE REFLECTIONS
BY
VAN CLEEF & ARPELS

両公演とワークショップは、京都、埼玉で開催するダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ & アーペル フェスティバルのプログラムです。(マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ『CARCAÇA(カルカサ)』高知公演を除く)



■チケット情報

<全席指定>

▶ラシッド・ウランダン 『Corps extrêmes—身体の極限で』

一般(1階席)6,000円、一般(2階席)5,000円、ユース(25歳以下)3,000円、18歳以下1,000円

▶マルコ・ダ・シウヴァ・フェレイラ 『CARÇA』

一般4,000円、ユース(25歳以下)2,000円、18歳以下1,000円

※未就学児入場不可。『CARÇA』公演は、中学生以上推奨。

※ユース(25歳以下)および18歳以下チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

▶2演目セット券(1階席のみ・前売のみ) **9,000円**

『Corps extrêmes—身体の極限で』『CARÇA』両公演をお得にご覧いただけます。

■チケット取扱<発売中>

▶オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

▶ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201 (窓口・電話とも 10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

▶京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

▶チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

《Pコード:『Corps extrêmes』526-715、『CARÇA』526-716》

▶イープラス <https://eplus.jp/>

■お問合せ先

ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演詳細 WEB ページ:

[『Corps extrêmes—身体の極限で』](#)

[『CARÇA』](#)

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:儀三武、寺田、加藤陸
電話:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp